

令和5年度

大海小 学校だより

11月号

おおみ

令和5年 10月 31日

校長 香林 直晴

秋の深まりを迎えて

11月（霜月）、2学期も後半に入りました。日中は暖かい日が続いていますが、朝晩はめっきり気温が下がり、秋も深まってきました。また、この秋の深まりと同時に、紅葉前線も南下を続け、周囲の木々も一段ときれいに色づいてきました。

さて、10月をふり返ってみると、バス遠足、マラソン大会などがありました。今月も子どもたちの成長している姿を見ることができました。5、6年生の遠足では、途中からひどい雨風の中を歩くことになったのですが、歩みの遅い班員を励ましたり、声をかけ合ったりする姿が見られました。お互いのことを思いやる気持ちが育っていることを実感しました。また、マラソン大会では、10月から長休みの時間に、この大会に向けて、子どもたちは運動場を走ったり、試走を繰り返したりして力と自信をつけました。大会当日は、保護者の方々や大海こども園の園児の応援を受けて、テンションも上がり、元気よく目標に向かって走りきることができました。行事を通して子どもたちの新しい一面を見ることができます。そういう意味でも行事の大切さを感じます。加えて、保護者の皆様にとっても子どもたちの成長を感じることができたのではないのでしょうか。今後ご支援、ご協力よろしく願いいたします。

11月は先日ご案内したように、保護者や地域の方々に子どもたちの様子を見ていただける学校公開週間（1日～4日）があります。子どもたちは、できることを一生懸命にしようと前向きに頑張っています。ぜひこの機会にご覧いただければと思います。



11月の生活目標・・・『ありがとうの気持ちを伝えよう』

11月は、優しくしてもらっている友だちや仲良し班のメンバー、お世話になっている方々に、日頃の感謝の気持ちを伝える活動に取り組みます。教室前に掲示した「ありがとうの木」に、ありがとうの気持ちを伝えるカードを貼っていきます。心のこもった行動や言葉かけで、きっと、ありがとうカードで木がいっぱいになると期待しています。



11月の学習目標・・・『反応しながら聴こう』

今月は、学び合いの授業づくりのために、友だちの発言に反応できる子どもを育成するための取組を行います。「いいです」から一歩前進して、友だちの発言を真剣に聴いているからこそ生まれる素直な反応ができるといいなと思います。

【反応あいうえお】あ～・いいね・うんうん(わかる)・ええっ?・おお!

【反応はひふへほ】はあ～(そういうことか)・ひえ～・ふんふん・へえ～・ほ～

